

# 第3回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

日時：平成30年8月17日（金）午前9時30分～

場所：稲敷市役所本庁舎 3階北311会議室

発言者	発言内容
-----	------

## 1. 開会

事務局	おはようございます。只今より第3回の外部評価委員会を始めます。横須賀委員長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。
-----	--

## 2. 委員長あいさつ

委員長	昨日は暑かったですよね。そういうのがやっと終わって、湿度も少し落ち着きましたので、気分良く、それでは始めましょう。
事務局	ありがとうございます。それでは3番の議事に移ります前に、簡単に資料のご説明をさせていただきます。 資料1と資料2を皆様にお配りしました。資料1が、今後の外部評価のスケジュールとなっています。 今日は8月17日で3回目。次回以降は8月20日、8月30日、9月12日、9月21日ということで予定が入っております。 8月30日までは了解いただいているのですが、恐らく担当課からは変更の問い合わせがないので、事業のヒアリングは予定通り進めていけるかと思ひます。 資料2はヒアリングの対象事業が実際に始まった開始の年度と、終了する予定の年度を、今日行うヒアリング対象の4つの事業について記載されておりますのでご確認お願ひいたします。以上です。

## 3. 議事

事務局	それではヒアリングに移りたいと思ひます。進行を横須賀委員長にお願ひいたします。
委員長	はい。では最初の担当課は前にお願ひします。

### (1) ヒアリング

#### 1. 大学連携事業（政策企画課）

担当課	それではよろしくお願ひします。政策企画課長の糸賀、企画係長の石川です。どうぞよろしくお願ひします。 ナンバー25は大学連携事業ということで、概要を説明させていただきたいと思ひます。資料といたしまして、1枚目にアンダーラインの入った、研究概要という資料をお配りしています。それでは事業の概要から説明させていただきます。 資料の上段にあります、事業の概要ですが、地域資源の発掘や生かし方について、大学と共同研究を行うことにより、新たな発想を得ることとし、資源の発掘及びPR活動に繋げるということで、これまで稲敷の自慢できる食材を生かした弁当、稲敷弁当の研究や、江戸崎駅舎や壁面の手作り改修などを行ってまいりました。平成29年度は2つでございます。 1つは田舎暮らしお試し住宅、空き家の離れの改修ということで、研究
-----	---

	<p>概要の章の p. 2～10 に載っていることをしています。</p> <p>研究概要のほうで申し上げますと、p. 3、地域おこし協力隊と協力して、田舎暮らしを体験できるお試し住宅にある離れの補修改修を行いました。p. 6 にございますが、“ここのわ”と名前を付けて、p. 7 の通り、オープニングイベントを開催し、p. 10 にある写真の 2 段目右側にありますような、稲敷の歴史や文化を伝える飾りつけを実施してございます。</p> <p>田舎暮らし体験と併せて、宿泊される方に稲敷の文化をお知らせできるようになっております。もう 1 つ、稲敷弁当のお弁当教室になります。p. 11 の市内の小学 5 年生 19 名と保護者に対する地元食材を使った弁当作りを行い、地元食材を開発しながら調理実習して、食育を推進しています。</p> <p>評価調査票に戻っていただきまして、資料の中段で、平成 29 年度の事業費が約 80 万円ということです。目標指標は、平成 29 年度 1 事業から大学連携の数を増やしていくこととしております。</p> <p>資料の上の評価チェック表のところですが、主なところといたしまして、手段の妥当性というところで、改善の余地はあるが、工夫は難しい、2 としています。これは、これまで筑波大芸術系と連携してきましたが、今後は改善の余地もあるのではないかとという考え方をしています。</p> <p>公平性の 2 の費用負担のほうでは、どちらかといえば改善の余地がある、3 としています。1 か所の空き家、1 つの学校でない取組の検討も今後は必要と考えております。</p> <p>資料の下段の内部評価は、現状維持ということにしております。取組方向としては、新たな地域資源の発掘は、市単独では難しく、今後も継続して実施していきたい。また、今後の改善計画ですが、事業化へと向けた事務、やり方の改善、最終的な受け入れ先までの取組が必要と考えております。以上が説明になります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>今のお話で、お金のところを見ると、今年が委託料 200 万ですが、どのようなものなのでしょう。</p>
担当課	<p>昨年度は 1 事業で 80 万円でした。今年度は 2 事業になっていまして、和田公園のプレイスメイキングということで、和田公園の良さを見直し、活用の推進を図るようなことを、筑波大芸術系の先生とお話をして、和田公園のほうの事業をすることになっていまして、先日簡単なイベントを実施しました。</p>
委員長	<p>この委託料の考え方、大学連携の時に経費をどうするのかというのは、結構問題なのですが、ほぼ学生ボランティアで全てこなしてしまうのが普通です。行き帰りの交通費等をどうするのかとって、親切な先生が全部自分の車で送り迎えして、学生も学生の車に乗って、やってしまうということが多いです。</p> <p>テーマを決めてお金を付けるというのは、これは要するに、場合によって純粋な業務委託になってしまう。ですから、そのところをどう整理するかというのが一番私は問題だと思います。金額が思ったより大きいので、あれ？と思ったのです。</p> <p>大学が地域と連携して何かやるという時に、ある興味範囲についてはグッと入り込んできてくれるのですが、それ以外のことについては、子供たちはなかなか、言われればやるのだけれど、なかなか難しい部分もあります。私は、地域の案内の地図を作ったり、あとは案内の冊子を作ったり、地道に地域調査をさせて作るということをやっていました。それは一切お金をもらいませんでした。</p> <p>ただ、水戸市で行った時は、市民協働として 50 万で、10 万は自分たち</p>

が出すという形のマッチングプランでお金を作って印刷物を制作しました。

他に私が知っている例では、食品栄養の子供たちが、セブンイレブンとマッチングしてお弁当を作ったり、地元のお菓子の会社とマッチングして、自分たちの手が出るような価格帯の1個100円以下のお菓子の詰め合わせを作ったりするというものがありました。600円や800円で箱詰めになっているのですが、ちょっと配るのに丁度良くて、それがめちゃくちゃ売れたというものがありました。

他には、常陸蕎麦畑の耕作放棄地を自分たちでもう一度直そうというお蕎麦のプロジェクトがありました。それはほとんど蕎麦好きの先生が子供を連れて行ってやったのですけれど、そういうものが、すぐに思い浮かぶものだけでも幾つかあります

あとは、市の広報誌づくりです。水戸市でもやりましたし、茨城町でもやりました。学生が自分たちの目で見たいところを、1ページか半ページに割って何回か出て行って作るということをやった事例もあります。

この100万はどうするのでしょうか。なかなか難しいと思うのですが、しかし現実にお金はかかるものです。ですから、その辺りが1番大学連携で難しいところだと思います。大学連携は、来やすく合宿に行きやすいです。

私は1度途切れてしまったので、学生も途切れてしまっただけで、元々は気仙沼と少しやっていた。震災前のこと。その年代は良かったのですが、2年ぐらいお金を集められなくなって、気仙沼に行けなかったのです。そうしたら震災が来てしまいました。ですから、前の年代の人たちは気仙沼に応援に行きました。現役の学生は、少し途切れてしまっていたので2人ぐらいしか行きませんでした。やはり、関わっていると何かあった時に自分の第2第3の故郷のように思うのか、行くんですね。これを少し見た時に思ったのは、この住宅を合宿施設として開放してしまうのはどうだろうかということです。ただで使ってもらい、その代わり貸し布団代と食事は自分たちで出してもらって。場合によっては布団代も出してしまってもいいですよ。その代わり3日使ったら半日だけは何か稲敷のことをやってもらって、しっかりと報告してくださいねという形で。1週間居たら、2日稲敷のために使ってもらおう。そういう形でやれば、割と使うところは出てくるかもしれません。

それともう1つは、学生の自主性というのはものすごく落ちていきますので、関わった先生の力が重要だということです。先生が、稲敷でやろうというふうに持っていかなければだめなのです。

そのためには、やはり何かで関係を持った先生には、ここで合宿をやってくださいとか、学生を連れてきてくださいとか、そういう働きかけをして、うまく引き込むことが大切なのではないでしょうか。こちらから、〇〇公園をどうにかしてくださいとか言うのも大事かもしれませんが、直したいところがこれだけあるというメニューを提示するとか、直したほうが良いところを見つけてほしいと働きかけることも大切です。次の年にそのメニューについてどのように整理するかなど、芸術系の先生が作ればそれなりに整理されたものになると思いますが、今、大学は分野がとても狭いのです。分野の幅広い先生はものすごく少ない。ですから、なるべく広く使うように持っていくのが良いと思います。

大学連携というのはどこでも見るのですよね。でもお金の使い方を皆迷っている。何の事業と指定すると、委託事業をやった時に、契約の相手方は任意で良いのでしょうかけれど、やはりしっかりと整理されたかが非常に

難しい。ただ、ここは交通費がある程度考えておかなければならないとか、幾つか条件があると思うので、私は、大学連携は縛らないほうが良いと思います。私は学生が自分たちで行けるような近場でしかやらせませんでした。ですから、面白いテーマであれば学生は勝手に行くのです。自分の興味があれば。興味がないものについては、やはり先生が連れて行かなければ成立しません。その辺りですね。

せっかく作った宿泊施設があるのですから、これは色々なことに使ったほうが良いのではないのでしょうか。そういうものに少しだけお金を使って、合宿して提案をしてくれたら3万円あげるよとか、5万円あげるよとか言うと、学生にとっての3万、5万は結構良い報酬だと思いませんか。

ゼミやサークルで何かやろうという時に、3万とか5万とか貰えるだけで大宴会ではないですか。そういう、提案をしたら幾らという仕組みがあって、合宿してほしいと言えば、色々な人が来て色々な気が付かないことを探してきてくれるかもしれないと思います。

大学の連携というのは、本当の学術研究的なところでしっかりと連携するということがありますが、学生も使ってという時にはそうではないのですよね。普通の大学との連携で、産学連携や公民学の連携というものは、どちらかというとも大学の専門性をどう生かすかというものですから、大学の持っている知的財産を引っ張り出すという話なのです。それで、学生の力を何か上手く使おうというものは、それとは少し違います。やはり、今の学生はなるべく少し遊ばせないと上手くいきません。それに、来てみたら良いと思って住んでくれる人もいるかもしれませんし。

来てもらって、2泊3泊して、自分たちでご飯を作って過ごし、その辺りを歩いて色々なことを調べたりして、何か学生の気持ちに変化を与えるような、そういうものが起爆剤になって変わっていくということはありません。

常陸蕎麦の耕作放棄地では、その後地元のNPOが大々的に取り組むようになって、ガラッと状況が変わりました。蕎麦の収穫量が昔を上回りました。業者は皆そのNPOに買い付けに来るようになりました。食べさせてもらいましたが、おいしいお蕎麦でした。でも1番おいしい蕎麦は出さないのだそうです。業者においしい蕎麦を出してしまうと、そのクオリティを維持しなくてはならなくなってしまうので、少しだけ混ぜて等級を下げた蕎麦を、東京の一流店などに出しているのだそうです。1番おいしいのは自分たちで食べる。

そのような素晴らしいものが地元に出てきましたが、最初のきっかけになった学生にとっては、土遊び的なものだったのではないかと私は考えています。それをやったのは食物栄養学科の女子学生を中心とした学生たちでした。それを教えていた先生は、食物栄養も産業も全く関係ない、イタリアのルネッサンス期の美術の専門の先生でした。

ですから、これは大学の知の財産の移行ではないのです。お菓子を作って上手くいったとか、セブンイレブンのお弁当にとかいうものには若干大学の知が入っていますが、それは食物栄養学科の学生ではありますが、単に先生が面白がって、自分たちがおいしい蕎麦を食べたくて無理矢理学生を巻き込んで蕎麦を作ったという話です。このように「きっかけ」と「パターン」は色々あるのです。ですから色々なパターンを用意したほうが色々な人が関わることになって、次の展開が望めるのではないかという気がします。

端的に言えば、その公園をどうするかという問題は、美術研の先生個人か、もしくはそれを持っている任意の組織に委託を出して、学生が調査に

	<p>来て、先生も来て、ああだこうだと大学でやって、こうだああだと提案するという、そういう形だと思うのです。それは連携とは少し違いますね。現実的な業務委託ですね。それよりは、何か必要な経費を出してやるほうが良いでしょう、100万円もらえばそれなりに使えるでしょう。それは業務委託になってしまいますが。適当に使って終わっているという、別途収入という形で終わってしまうと思います。</p> <p>100万くらいで業務委託するというのは、大学との連携の中では専門性を引き出すにはとても重要かもしれません。そういう意味のものがあるのも良いかと思いますが、しかし、ここでやってきたもののイメージは少し違うなど感じます。学生の力をまちづくりはどう生かすのかという時の使い方は、少しお金の使い方が違うような気がします。一人だけ長い話をして申し訳ありません。</p>
委員	大学の担当の先生の考え方も、きっと違ってくるでしょうね。
委員長	<p>皆違う考え方を持っています。先生の中にも競争心みたいなものがあります。若い人たちには、何故出ていかないのかと私は言うのですが、そうすると、言われて面倒だなといいながら何かをやる。それで市町村とマッチングしろと結構しつこく言っていたので、そうすると手垢の付いていない市町村を一生懸命探すのです。</p> <p>大体はその市町村も、その先生に色々なことを頼んだり、色々なことをお願いしたりしていくのです。そうすると、学生もそこで活動をするので、繋がりが広がっていきます。</p> <p>私も大学にいる時は給料をもらっていましたから、いいのです、払わなくても。ただ、学生は自分たちのお金で活動しているので、少しでもお金をあげると喜ぶのです。実質的に自分たちにできないことは、印刷物を作ったりする次の段階のこと、専門の人がやるようなことに至る時に使えるお金はないのです。そこを少し用意してやれば良いのです。</p> <p>この改修も日程を見るとよくやったとは思いますが、耐震改修などはもう専門家の仕事ですよね。これは最終形を見せたのでそれなりに納得はすると思いますが、こういった掃除だけで終わりにしたのでは、かわいそうです。</p>
委員	資料の今後の改善計画に、事業化へと向けた事務の改善とありますが、先生のお話にあったように、そういうことを今後考えていくということなのでしょうね。
担当課	<p>平成29年度は1つで、平成30年度は1つ追加です。</p> <p>こちらの研究室ですけれど、こちらは今年度継続しておりまして、拠点を生かした周辺の地域資源の発掘ということで、マップ作りをしています。</p>
委員	2つの事業というのは、和田公園の整備をするという事なのですか。今公園はチューリップ公園みたいなものになっていますよね。
担当課	はい。チューリップまつりを4月にやっている公園ですね。
委員	それをどのようにしたら良いかというのを、学生さんたちに考えてもらっているということですか。
担当課	それも含めてですね。あり方などを考えていただいています。
委員	整備させるわけではないですよ。
担当課	勿論です。
委員長	私が自分たちで10万用意して、60万でやった時は、印刷製本の人がプロのデザイナーと一緒に冊子を作らせたのです。そうすると、その間に色々な知識が学生に与えられました。その学生たちは2年目にはプロのデ

	<p>ザイナーはいらないとか生意気なことを言い出しましたが。</p>
委員	<p>離れの改修というのはどういうものですか。学生たちがこういうふうにしたほうが良いという提案の中でやっただけで、委員長が仰ったように、将来的にそれをどのようにして学生の拠点となるような施設として維持管理していくのかなど、そういう部分の考え方というのは、市のほうではまだ持っていないということですか。</p>
担当課	<p>1つは haneyasume という母屋の手作り改修ボランティアを募集しまして、地域起こし協力隊と家屋を改修したところに、丁度離れの家がございまして、この離れがオンボロだねということで、ここが改修できれば、haneyasume に人が泊まった時に地域起こし協力隊も隣に住む、泊まりに行く、ということができないのではないかとということで、そこを綺麗にしようということで始まったものです。これが平成 28 年度です。</p>
委員	<p>実際その離れは、他県の方などの利用者数の実績はどのぐらいあるのですか。</p>
担当課	<p>ざっくりとしたお話をおこし協力隊からきいたところによりますと、1年間で 100 人ちょっとと聞いております。ただ、つくば大学の学生さんも泊まったことはあるのだと思います。先ほど委員長が仰ったように。</p>
委員長	<p>安く合宿できる場所というのは、本当に無いのです。大学は自分のところにセミナーハウスなどを持っていたりして、そういうところも安いのですが、面白くないのです。ですから、民間に相応の男女を分けて泊まれる部屋があつて、合宿ができるのであれば、最高ですよ。タダで泊まらせられれば。</p>
担当課	<p>利用状況としてはそんなに高いということではないのかもしれませんが、地域おこし協力隊のほうで PR 活動などはやられているところ。しかし 100 人ちょっとというのは多いのか少ないのかというと、少し少ないのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>去年もお話しましたが、単なる泊りだけではなく、最終的には空き家住宅対策なども含めた話になります。避暑に来るだけですが、毎年リピーターで来ている方もいるという話も聞きましたが、稲敷はこういう良いところなのですと、そういう話だけでは進歩性がなくなってしまいます。</p> <p>ですから、今の離れのことも、そういった状況で学生たちがこのようにしようと取り組んだと思いますが、やはりこの資料の問題点の中で、あくまでも学生さんの取組には柔軟性はないですよ、と担当者が書いてあるわけじゃないですか。それをどのように解決したらよいだろうというものもあるわけですよ。</p> <p>ですから、委員長が仰ったように学生をどのように上手く使って、頭の中の考えていることを引き出して、それを地域発展の一助となるような事業にできるかという部分がこの連携だと思うのです。その部分で、継続性に欠けてしまつとか、柔軟性がないというコメントが反省点の中に入っていますが、そういったものをどのようにクリアするかということです。</p> <p>先程のお話で委員長は、大学の先生とはまた別に、学生にお金をある程度支払って、自分たちでそれを柔軟に使いながらやらせるという 1 つの方法論だというお話をされていたかと思います。そういうことをひっくるめて、調査票にあるコメントを、企画のほうではどのようにステップアップさせていくのかということをお聞きしたい。</p> <p>それがないと、同じになってしまうのです。ただ頼んでいて、ここを和田公園を考えてくださいね、次は何を考えてくださいね、という形であれば、それだったら今度は委託料だと思います。</p> <p>ですから、いかに学生たちの柔軟な頭の中のものを引き出して、市の事</p>

	業に繋げていけるかというのが、この連携で委託料を払っている大筋ではないかと思うので。
委員長	<p>100万あれば、学生のコンペができますよね。学生コンペに何回も学生を出しているのですが、学生コンペというのは、学会のやるものは1年かけて0円で、表彰状が1万円なのです。それは名誉のために頑張るのですが、お金を貰えるコンペもあります。</p> <p>那須塩原のコンペでは優勝すると10万円が与えられます。準優勝だったのですが、それでも7万円に牛乳やお米などをいっぱい貰って大喜びしていました。学生を喜ばせる最大の金額というのは、それぐらいのものなのです。</p> <p>ですから、コンペで課題を出せば、学生は沢山来ます。泊まる場所として空き家を10軒20軒用意しないとイケないくらいに学生は来ます。連携で何か見つけるためには、課題を探して提案してもらう学生コンペをやったら良いと思います。100万あれば充分です。</p>
担当課	<p>昨年度の反省としては、耐震を含めて改修することにエネルギーとお金を使ってしまったのかなと思います。改修も終わりましたし、その地域の米作りや、地域のことも分かったと思いますので、そういったことを中心に、筑波大の先生や学生と地元の方を入れたワークショップをやって、1回だけでなく2回、3回と回数を重ねて、これから自分たちは何をしたらこの地域のためになるだろうかということを引き出す努力をしていかないとならないのではないかと、今色々なお話を聞いて感じました。</p>
委員長	しかし、お金のかかる内容は無いですよ。
担当課	去年は材料代と交通費がかかりましたので。
委員長	少し材料費がかかったかもしれませんが、今年やろうとしていることにはお金がかかる中身がないわけです。交通費だけでいいのかなという、そういう気がしますよね。実際にはお金はかかりますよね。
担当課	公共交通がないとは言われました。
委員	<p>去年はライスミルクプロジェクトといって、筑波大とのお米の商品化プロジェクトでスイーツを作りたいというものがありましたが、あれも筑波大との連携でやっているのですよね。</p> <p>今も継続されていると思いますが。去年も話題になりましたが、やはり分かる人は分かるのかもしれませんが、いかにこの地域にこういった製品化をして売り出していくかということも、1つではないかと思いますし、今年には県内のセブンイレブンで江戸崎かぼちゃスープが売られたのですよね。</p>
委員	既に買ってきて試食しました。うちは毎日新聞と産経新聞を取っているのですが、どちらかの茨城版に稲敷市の記事がやや大きく載っていて、8月7日が発売と出ていました。
委員	そのようにどんどんPRしながらやっていくようなことであれば、目に見えている部分というのはあると思うのですが、そのものから目に見えている部分というのは、将来的なものを含めた中での取り組み方をしていくわけですから、すぐに1年後こうなるという話ではありませんが。
委員	<p>委員の質問があったので和田公園の話に戻るのですが、大学と連携してやる部分というのがどういうところなのかが分からないのですが、これから話題になるサイクリングロードなどが和田公園には含まれますよね。霞ヶ浦周辺なので。</p> <p>和田公園にはチューリップ祭りをやるチューリップ畑のスペースと、和田公園の水辺周辺でキャンプ場にできそうな広いスペースがありますね。水辺散策ができるような感じの設置にもなっていて、こちら側には水郷筑</p>

	<p>波国定公園という看板もあるのですよね。それと、いなしき子ども大学ではもうそこでキャンプをしています。その事業もあるので、筑波大の方は、どの辺りをやって和田公園を改修するのか、これからの事業でどのように関わっていくのかと思いました。</p> <p>このように和田公園に関する事業が他にも色々ありますので、市役所の方がそういった事業と連携し、和田公園を、本当に水辺を生かした皆が利用しやすい場所にしてくださることを願っています。</p> <p>キャンプの場所としてもそうですが、チューリップ祭りも歌手の方がいらっしゃったりして、特に高齢者の方に定着した大イベントになっていると思います。チューリップ祭りはチューリップ祭りで、駐車場などが大変になるような定着した良いイベントですし、夏場のキャンプやサイクリングなどと併せて、活性化を目指して、筑波大学の方がどのようにどの辺りの部分をやってくださるのかと思いました。</p>
担当課	<p>1つは、かつて和田公園はこんなに良い場所なのにあまり使っている人がいないねということを先生から言われました。委員長は、休憩する椅子があったり、サイクリングの人のためにトイレはどこにあるというようなサインを設置したりして、もっと使い方をPRしていくべきだという考え方を持っていたらいいなと思いました。一番印象に残ったのは、「何々をしてはだめだ」という看板しかないですねと言われたことです。</p>
委員	<p>確かにそうですね。</p>
担当課	<p>焚火禁止、進入禁止、ここは何々をしてはいけません、そういった注意書きばかりではなく、ここでは何ができませんというような看板やサインを沢山作ったほうが良いのではないですかと言われました。ですので、サインの変更や案内の表示についての検討は明らかにしなくてはならないと思っています。</p> <p>イベントに関しても、先日6月に、ここで何時から何をやりましょうというイベントではなくて、ここに来たら椅子があって、シートがあって、自由に使えますということをお願いしたいので、あまりイベントの時間とかはPRしないでくれというお話もありました。その代わりに、インターネットなどで出しましょうとなったのですが、当日大雨になってしまいました。お客さんはサイクリストが少しトイレに来たなというくらいで終わってしまいました。薪割りだとか、松林を使って休んでいただくということを、もっとやりたいですねという話は伺っております。</p>
委員	<p>その他にも、和田公園のあるところは旧桜川地区の浮島というところなのですが、そこはトウモロコシ畑があって、ゆめコーンという稲敷を代表するスイートコーンの産地です。夏には直売所で予約をしないと買えないような売り切れ続出のものです。</p>
担当課	<p>浮島地区のかき氷屋が有名ですね。トウモロコシの販売もやっていますね。</p>
委員	<p>そして広がるレンコン畑ですね。稲敷市を代表するものです。稲敷市の農産物も沢山ありますし、浮島地区だけで言うと、合併する前からずっと地元でとれたイチゴを使った食育を行っています。</p> <p>小学1年生に火を使わなくてもよい地元のイチゴを使った苺大福を作ってもらおうのです。それから、レンコンハンバーグを作ったりもします。学校ではそのような食育を行っているのです、そういったものもプロジェクトの一端として、農産物の直売所なども充実させてもらおうと良いのではないのでしょうか。</p>
担当課	<p>ここに来ると何ができて、何が売っているのかというイメージを植え付けることが大事だという考え方もあると思います。</p>



委員	そうですね。
担当課	<p>イベントの時にトウモロコシの販売をやっていただいて、バス釣りトーナメントという商工館のイベントとぶつけたのです。そのお客さんや家族の方にも知っていただくということで。</p> <p>しかし、天候がよくありませんでした。ものはある程度売れたのだと思うのですが、松林のほうに滞在する方は少なかったというのが反省点です。</p>
委員	あとは、霞ヶ浦の佃煮とか、漬物屋さんも沢山ありますね。
担当課	そうですね。そこに持っていくと売れるのだ、というふうにならないとお店も出していただけないので。
委員	だからサイクリングロードなどをやる時に、休憩所にそういったものを用意できれば良いですね。
担当課	半年に1回でも良いですから、“この日”という時に皆で持ち寄ることが自然に定着するようになっていけば良いのだらうと思います。
委員	それと、揚げ餅と稲四季弁当が、商品開発の発想を得る切っ掛けとなりましたという記載があるのですが、この後揚げ餅と稲四季弁当というのは発売されているのですか。
担当課	揚げ餅自慢大会をやることによって、揚げ餅を販売したり作ってくださる方がある程度増えました。
委員	揚げ餅大会も何回も見に行きました。出品している方も結構知っている方が多いのですけれど、10年ちょっと続いた揚げ餅大会も今年度でファイナルです。しかしグランプリの人が直売所で売っているのは見かけるのですけれど、それ以外の方はどのようにしているのでしょうか。
担当課	<p>揚げ餅は江戸崎笑遊館でも売っていただいています。手数料はかかるのですが、低い手数料で売ることができます。</p> <p>稲四季弁当は合併4町村でそれぞれ美味しい食材があるということが筑波大生の話や地域のお母さん方とのワークショップで分かりまして、それでお弁当を作りましょうというところからスタートしております。『稲四季』という名前の弁当になりましたが、商品としては、一時市内桜川地区の商店で売っていただいていた。</p> <p>今年度やろうと思っているのは、弁当屋さん和相談したのですが、つみ紙、あるいはシールを市のほうで用意できれば、地元で何品か作ってもらったものを稲四季弁当としましょう、ただし、何日前までに申し込みが必要、というようなルールを作って、それで市のシールを貼って、売っていただくかということ、これからやっていこうと考えています。今そのようにお弁当屋さん和話をしています。</p>
委員	地元産の食材を使ったお弁当というのは色々なところで見かけて食べているのですが、例えば河内町、それから水戸へ行った時に、小美玉だったと思うのですが、その掛け紙の裏にどここの何々と必ずシールが入っていました。
担当課	<p>食材などを書いたもの、これがその食材ですよと書いたものの原案があるのです。最初に作ったのです。稲四季弁当と書いたものを。</p> <p>そのように来年の国体等もそうなのですが、そういう時に沢山売りたいと考えています。</p>
委員長	100万というところに若干疑問を持っているのです。100万使うなら、やはりコンペをやった方が良くと思う。100万やるというのではないですが、コンペで現金はほとんどやらなくてもよいとは思いますが、ものすごい数の学生が本気で稲敷のことを調べて、現地に一度は来て、PRする中身を調べしてやるから、コンペは学生が沢山参加して、いいかもしれな

	<p>いですよ。コンペで出た優秀なアイデアには、それを実施するための予算をある程度用意しますよという話にしておけば、幾ら以内でその実施のためのお金を用意しますと言えば、それだけでもう全然違ってきます。那須塩原では、遠いところで関西から来たといいます。</p> <p>全然お金のかからないことですし、学会の学生論文の発表が土日前ですので、それはいくらかでも学会のほうで話しますよ。そうすると、だいたい30大学か40大学は来ます。北海道は来る時と来ない時がありますが、九州までは来るので、本当に全国から集まってくるので、宿泊施設の問題を解決しなくてはならなくなるかと思えます。そういう学生は必死です。では次の事業にいきましょう。</p>
--	--

## 2. サイクリング環境整備事業（政策企画課）

<p>担当課</p>	<p>続きまして、サイクリング環境整備事業についてご説明いたします。このマップを見て頂ければイメージが湧きやすいと思いますので。お手元に小さく折ってありますマップをご覧いただければと思います。</p> <p>平成29年度に作った稲敷周遊サイクリングマップですが、マップを広げた左側にございます、霞ヶ浦は載っている写真のほうです。ここにコースを設定いたしました。1から6までの6つのコースで、なんとか市内に呼び込みたい狙いがあります。裏側の地図にも入っているのですが、コースを設定し、このようなコースに来て頂くのはどうですかと、こういうものが見られますというのを作ってあります。</p> <p>左下にサイクルサポートステーションという、コンビニや商店等を指定させていただきまして、ここにチラシを置いたり、休憩所として使ったりしてもいいですよ、ということになっている場所がありますので、そちらにチラシを置かせていただいています。</p> <p>裏側は大きな地図になります。先ほどの呼び込み地図が色別になっており、サイクルサポートステーションの場所、そして特産品、観光スポット、スイーツ、イベント等を記載して、是非稲敷市にも周って来て下さいというご案内をしています。</p> <p>それでは実施計画書、評価表に移りたいと思います。概要から申し上げます。県の計画に基づき、主に平成29年度実施したものといたしましては、特に1点目のつくば霞ヶ浦りんりんロード稲敷市区域の再設計。これは平成30年度に建設課のほうにて整備予定で、コース道路に、土浦の方に登場しているような、水色の矢羽根表示を予定しているものの設計業務を当課で行っております。</p> <p>また、3点目は市内周遊サイクリングコースの策定及び情報発信という事で、先ほどのチラシを市のサイクルステーションで配布したりして、情報発信に努めています。</p> <p>4点目のサイクリング来訪者の実態調査、サイクリストの把握などを行っております。目的ですが、県の計画に沿って環境整備を推進したり、健康増進や市内サイクリストの増加による観光事業の振興をしたいという事になります。平成29年度の事業費でございしますが、568万2,000円。内訳はサイン設計委託が約331万円。マップの作成委託料が約203万円、備品購入が約33万円、マップと備品購入費用は地方創生推進交付金、国の補助金が2分の1,118万3,000円が入っています。</p> <p>目標指標ですが、サイクリングによる交流人口7,100人ということで、こちらは実態調査による推計、ある日の休日142人×50周という推測になっています。</p> <p>評価チェック表でございしますが、3番目の公平性の①受益機会と、②費用負担で3としています。こちらは、公平性とうところですが、サイクリ</p>
------------	---

	<p>ストの立ち寄り先の利益は当然見込めると思うのですが、今後は多数の市民の皆さんが、充実感がないといけないので、そういったところも含めて、今後改善していきたいところです。</p> <p>5番目の効率性で、3としています。周辺市町村で一体的な組みをしておりますが、稲敷市にとってより効率的に独自の事を考えていかなければならないのではないかと考えています。下の方にあります内部評価は、現状維持といたしております。取組方向といたしましては、交流人口は全県的な取り組みもあり急増しています。いかに市内消費活動へ結びつけるかが課題です。今後の改善計画はサイクリストの市内滞留を目的として、観光スポットなどを掲載した冊子の作成配布に努めていきたいと考えております。以上になります。宜しくお願いいたします。</p>
委員	<p>質問なのですが、サイクリングはどこを起点や終点にする方が多いのですか。というのも駅が無いから、車で来るのか、自転車はどこで借りるのか、自転車は持ってくるのか、その辺りがよく分からないので。</p> <p>昨日、土浦の駅前のビジネスホテルに行ったら、自転車に乗ってる人がホテルに宿泊しているのです。だから恐らく土浦駅は起点になっています。駅ですし、泊まっていく人もいます。ただ稲敷市は起点が見つけないです。だから、もしここに流れてくるのなら、どういうコースで展開させるのでしょうか。</p>
担当課	<p>完全では無いかもしれませんが、昨年度、平成29年度にアンケートを実施しまして、出発地は3割が土浦だという回答でした。駐車場があるところ、あるいは電車の駅という事で、土浦にはサイクルステーションもありますので、やはり3割以上が土浦から出発という事で、出発地の選択要素は駐車場が重要な要素となっているようです。</p> <p>土浦からスタートして、どこを回るかということですが、1周を周るという方が6割を超えています。40歳までの若い層ですと1周。年齢が高くなるにつれて、一部区間の往復が多いようです。</p> <p>アンケートの結果から特筆されるのは、サイクリングコース以外に立ち寄った場所が有るという回答は4割程度しかなく、6割が走りに徹している方です。昼食の形態を聞いてみたところ、コンビニとスーパーで購入が最も多く、あとは周辺の情報提供や、事前に調べた食堂・レストランなどは、若い層以外の方で見られる傾向があります。</p> <p>ですので、駅やレンタサイクルの拠点となる土浦辺りから北や南に行ったりして、稲敷市の場合は拠点となる場所が無いので、休憩施設としてはコンビニ、あるいは和田公園のトイレです。</p> <p>市内にサイクルステーションという所を置いていますが、のぼり旗はあるのですが、やはりお店でないと入りにくいのだと思います。古渡の喜久(旅館・食事処)にお話を聞くと、ステーションにはラックが置いてあります。布団干しのようなものなのですが、これがあるので来ましたよという方がいて、食事を大盛でご馳走したという話を聞いたことがあります。サイクリングをする方の動きをまず知らないといけないというのは非常にあると思います。</p>
委員	<p>ちなみに、稲敷市には自転車を貸してくれる場所はあるのでしょうか。あるのであれば市内を起点に出来る可能性もあるのでは。</p>
担当課	<p>これからの課題ではあるのですが、1つはお試し住宅で使って頂いて、泊りに来た方に、霞ヶ浦が近いんですよとお貸ししているものがあります。駐車場が有り、良いロケーションである和田公園が起点にならないかという事ですが、舟屋など一緒にやってくれるようなお店、場所があれば、起点に成り得ると思うのですが、今のところ観光業があまり無いと</p>

	いう状況でして、そこが起点にはあまりなっていないのではないかと思います。
委員	通り過ぎられてしまうということですね。つくばりんりんロードの近くに住んでいる人に話を聞くと、人の流れに差があるらしく、ああやって整備したけれど、意外と不審者も多かったりするのだそうです。ですから、それなりに人に通って貰うのは難しいかなと思います。私も自宅から筑波山の麓まで自転車で行ってみましたが、正月時だからかあまり人が多くなくて、走る人は慣れてるので物凄い勢いでいってしまうし、止まる所もトイレ以外は大して無いので。
担当課	確かつくばの方で事件もあったのですよね。
委員	やはり少し寂しいのですよね。
担当課	本来は地元の人に歓迎されて、地元の人が挨拶するようになっていかないといけないのかもしれませんが。
委員	そうすると、ますますゆっくり走るといって感じではなくなってしまうのだろうと思いますけれど。
委員長	稲敷では、民泊は考えられないのでしょうか。
担当課	現在事業者はいません。やったらどうでしょうというご意見は聞いたことはあるのですが、手を挙げる方はいない状態です。
委員長	<p>サイクリングは産業なのですよね。サイクリングで有名な所は民泊がもの凄く多いのです。瀬戸内しまなみ街道（広島県と愛媛県を結ぶサイクリングロード）などは皆、島ごとに民泊なのですよね。両サイドはホテルに泊まったりするのだけれど、渡っていく途中の島で一泊民泊して、目の前で獲れた魚などを食べて、納得して。あれは一回降りると、上がるのにもの凄いエネルギーを使うのだそうです。橋は高いので。だけど皆降りて一泊はするのです。だからやはり民泊なのですよね。</p> <p>それと民泊で典型的なのは佐渡です。佐渡はこのようなサイクリングやトライアスロンやマラソンなど、色々なものを産業として取り入れています。朝の出発が7時とかになっていて、新潟から船で行ったのでは間に合わない時間の出発になっているのです。だから泊まらないといけない。それも、ハードなコースと簡単なコースと3種類ほどあって、毎晩お酒を飲んでしまっても大丈夫なコースの人もあります。要するに前泊と後泊で2泊してくれるわけです。それが新潟の佐渡では産業になっているのです。そのために毎月色々な大会が行われます。佐渡汽船はそれで儲かっているという話があるくらいです。</p> <p>サイクリングやトライアスロンなどは、やはりちょっとした産業化の流れの中に進んでいます。マラソンなどもそうです。それは、どこに泊まるかなどがどのように設定されているかが問われてくるところです。今のままであれば、あくまでも土浦を出発して、通過する、ゴミだけ捨てられて終わるような場所になってしまうと思います。高速道路で来る人もいるのですから。</p> <p>知人に自転車愛好家がいる、彼らはどこに行くのも車です。自転車のタイヤを外して積んだり、自転車をそのまま積めるような背の高い車を買ったりして、3人くらいでそのまま行って競技に参加しているそうです。そういえば、稲敷 IC、東 IC などがあるのだから、ここを拠点に上手くスタートさせるようなことを考えてみてはどうでしょうか。何か少し違って来るかもしれません。</p> <p>彼ら曰く、佐渡の良さは、大会の時には競技の自転車が来ると車は止ま</p>

	<p>ってくれるということ。そういう事を思えばどんなコースだって設定出来るわけですから。彼らがわざわざ佐渡に行く理由はそれらしいです。車の事を全く気にせずに、自転車コースではない所も走り回れるということは、彼らにとっては非常に嬉しいことです。</p> <p>そういう自転車利用者の気持ちを上手く取り込んでいくような、お金を落としてもらうためには、泊まらせるとか食わせるとかしか無いわけですから。そしてその度にくだらないお土産を買ってくるのです。別に美味しいわけでもなくても、佐渡サブレだとか、どこにでもあるようなお産物を、まあ、行ってきたからと、話の種に買ってくれます。</p> <p>そういうのが結果的に売れているのですよね。それが売れているのが土浦になってしまっていると思います。ただ、土浦にはそんなに大会はないですよね。土浦はやはり自転車屋さんが駅の下に入ったし、貸す自転車も沢山並んでいますし、コースがこちら側と向こう側とあって、本気でやる人は筑波山にも登ります。コースが幾つかあるから拠点になってしまったのです。それに引き換え、ここは単なるゴミを捨てられるだけの場所になるので、そこのところを何か手を打ちたいところですね。</p>
委員	東地区では、バイアスロン（バイク[自転車]・ランニング）をやっていましたね。
担当課	合併前にやっていたのですか。バイアスロンというと、自転車とランニングですね。
委員	自転車に乗る人には結構有名だった地区ですよね。他県から随分人が来ていたようです。合併になってからやってないのでしょうか。
担当課	合併後はやっていないと思いますね。
委員	その時は受け入れられていたのですか。
委員	全村一体となって、病院からはナース一同がテントに派遣されました。私も何回か行ったのですが、救護所をきちんと作ってやっていましたね。
委員	<p>結構今はバイクに乗る人が多くなっていると思います。ニーズが高まっています。常磐線辺りでも、大体上りだと夕方近くになると、大きな折りたたんだ自転車を、迷惑にならないところに立てかけて置いていらっしゃる方が結構いるのです。</p> <p>先ほど委員長が仰ったように、土浦辺りが自転車の拠点となっているからですね。私は途中で乗ったりするのですが、見るとそういう方は休みの日には多いのです。単なる通過点では困るわけですよ。</p> <p>霞ヶ浦1周のサイクリングロードに通られてしまっただけでも困ってしまう。稲敷市としては、先程の潮来のほう、西の手前からも入ってしまうでしょう。浮島周辺を通過して、喜久（旅館・食事処）の辺りを通過して向こうへ行かれてしまえば、自分たちが環境整備をしながら何の恩恵も受けられなくなってしまうということです。その辺りを、単なる通過点ではなくす手法が必要です。</p> <p>これだけだと旨味が分かりません。ここで何か食べたいものがあるとかいうことが、あまり分からないですよね。これをせっかく作っていただきましたが、先程、若い人はコンビニでお弁当を買って食べてしまう人が多いというお話でしたね。シニア世代であれば、稲敷にはこういう有名な食堂があるのかということも寄ってくれるかもしれません。</p> <p>やはりサイクリングをするという人もいらっしゃると思うので、その辺りをどうやってこのマップの中で、食事を取りたいのであれば是非ここですよというような。</p>

委員	ただ、それは実際になれば出せませんよね。
委員	<p>これで目標達成している割には、通過点で単なる人数をカウントしただけならば、これは目標達成ではないと思います。6,000人も7,000人も通過しましたよ、50倍したからこうですよ、と言ったって、それは数字を示しただけです。</p> <p>稲敷を通過してくれたということ、それが目標だったなら良いのですが、しかし、事業そのものの目的はもっと違う所にありますよね。サイクリングの環境整備しながら、もう少し稲敷市を知ってもらったり、寄ってもらったりという部分のウエイトが大きいと思うので、その辺りの考えを石川さん宜しくお願い致します。</p>
担当課	目標指数の方も通過点だけということがありますね。
委員	<p>喜久（旅館・食事処）の辺りで、このようになってしまって、6,000人だ7,000人だと喜んでいては、そんなの意味が無いです。これで満足していますよというような評価をしてしまうと、単なる自己満足に終わってしまいます。それは全然関係のない話です。</p> <p>ですからその辺りについてもっと考えることがあるのではないかと思います。確かに幾つもルートがあるのは良いと思いますが、それを目指してきた時に果たしてどこを拠点にして出発するのかということについてや、レンタサイクルについてなどです。観光地ならママチャリでもレンタサイクルはありますので。</p>
委員長	きっとどこかでやらなくてはならないことですね。
委員	そうですね。
委員長	総合運動公園かどこかに。
委員	そうですね。ああいうところがいいかもしれません。駐車場もありますし。
担当課	考えていることは考えてはいるのですが。
委員	そうすると、どこへでも広がれるではないですか。上須田、下須田辺りの haneyasume みたいな所だと偏ってしまいます。そうすると浮島周辺しか行かないよということになりかねません。
委員長	そういう所というのは、探したのですか。
担当課	haneyasume ですか。
委員長	シャワー室などです。江戸崎総合運動公園の体育館にはありますか。
担当課	江戸崎体育館であればあります。
委員長	では江戸崎体育館をステーションにすれば良いのではありませんか。そこに車で来て、自分の自転車でも借りた自転車でもいいので、それでそこからこの辺りを走り回って。
委員	改めて見ると、立ち寄ってここで美味しいものを食べたいと思えるような、魅力あるお店はやはり少ないですね。自分でも自転車で行って、お手洗いはどこかで行けるとしても、何か美味しいもの食べたい、買い物したいというのが少し足りないような気がします。残念ながら。
委員	ステーションを持っているのは、山崎菓子舗さんだけですものね。

担当課	そうですね。そこで実際にやられているのは。山崎菓子舗さんくらいのもので。
委員	例えば、浮島桜川の宮本商店さんなど、お弁当をやっているお店屋さん は新利根あたりにも色々ありますよね。そういった、小さいけれどちよっ と美味しいものを置いている所が入ってくると良いと思います。自転車 に乗っている人は動きが良いですから。何かそういった魅力が欲しいです ね。
担当課	そうですね。それが目的なので。
委員	サイクリングロードのことを市内の人も知らない。委員長が仰ったよ うに、佐渡島みたいに安全に走行出来ないですよね。よく連休にはサイク リングしている人を見かけますが、あの人たちは趣味でやっているんだな というくらいの感覚で、ここがそんなサイクリングロードになっていると は分からないものです。サイクリングロードでないとしてもどこを走って もかまわないのしょうけれど。ある程度、そういうものがありますよと 周知されないといけませんね。
担当課	そうですね。地元の人が知らなくてどうするのだという話ですよ。
委員	また、地元の人に対しても、そんなに長距離のものでなくてもよいの で、サイクリングのイベントなどがあれば周知出来るかと思えます。
担当課	そうですね。サイクリングのお客をなんとか稲敷市に寄っていただくよ うにしていかないと、お互いに良くなっていかないのだと思います。
委員	地元の人が全然知らないのと知っているのでは大きく違いが出ます ね。例えば「暑いですね」とか、休んでいる人に声を掛けることもできま す。
委員	そういったサイクリングのイベントの計画は無いのでしょうか。
担当課	市だけのものではありません。広域的なところで、茨城県が主催共催の ものはあります。実は市主催のものについては、去年、おこし協力隊が仕掛 けようとしていました。ロゲイニングというのですけれど、チェックポ イント設置して色々な場所を回るといふものです。 しかし、これもやり方次第なのだと思いますが、スピードを出したら 危ないとか、そういった警察側からの規制もあるようで、結局その計画は なくなったという事もありました。ただ、そういった競争ではなくて、自 転車を使って周れるような工夫が必要です。新たにやるのか、今あるもの に被せてやるのかは別として。
委員	そうです。普通に考えて、潮来街道と言われる県道も、歩道がありませ んの。自転車で通学している中学生が走るような所を走らないといけな いことになっています。
担当課	一応ですが、立場上は車になるようですね。歩道を走っても良いよう ですが。
委員	他市町村との連携も絶対に必要ですよ。神崎、阿見、土浦、龍ヶ崎な ど、その辺りはどうなのですか。
担当課	実は今年の7月に茨城県でつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協会 というのを立ち上げました。これの特徴は、近隣市町村と、交通事業者、 それから宿泊事業者、お店など、加盟したい方がどんどん入ってくださ いよというものです。それがやっとならば広域的には出来たところなので、 そういうものを中心に、今度は観光など、それぞれ別個にやるのではな く、一緒になってやらないといけないでしょうという流れにはなっていま す。

委員長	<p>一緒にやるのは大事ですが、一緒にやって通過点にされてしまっただめなのです。ここにステーションがあって、ここからスタートできて、ここに戻ってくる、ここに泊まる、ここでご飯を食べる、ここでお土産を買う、そういう場所にしていかないと。それが無いと、自転車利用者にとっては単なるゴミを捨てる場所になってしまいます。</p> <p>やはり自転車で走る人は、とにかく荷物を軽くしたいのです。ですから普通に捨てる。それについて自転車の競技をやっている人たちは皆、それはしょうがないことだと言います。</p>
担当課	<p>しょうがないのですね。課題とかいうことではなく、しょうがないことなのです。</p>
委員長	<p>自転車競技というものは、元々ゴミを捨てるものです。1日200kmも走るの、走りながらもの凄い高カロリーのをどんどん摂取するので。そうでないとショック状態になってしまう。ですから走りながらどんどん食べたり、カロリーの高い液状のものを飲んだりしては皆捨てる。そうすると、ヨーロッパなどでは誰々選手が捨てたやつだといって皆一生懸命拾いに行くのです。水のボトルにはチームのカラーが入っているので、拾った人はもの凄く嬉しいのです。今は自動車でそのまま選手に渡していきませんが、昔は袋で補給していました。今は無くなりましたが、補給係が体いっぱい食べ物と飲み物の入った袋を付けて選手に渡すのです。補給袋が取れなくて負けてしまったということもあるようです。そういった袋を皆捨てていくので、それを拾うのが自転車競技を観ている人の楽しみなのです。世界中の競技の中で一番観客数が多いのが自転車なのです。ツール・ド・フランスにしても何にしても、1日200km走ってその200kmに観客が付くわけですから。ですから観客数が最も多くなるのです。</p> <p>そういう意味では、今私の周りにも変にその気になっている人が多いので、ここまで車で来て、ここで降りて、ここからこう走って、どこどこへ行って、そういう流れにどう持っていくかというのが重要です。</p>
委員	<p>この委託費200万というのは、何に使うのですか</p>
担当課	<p>先程紹介しましたマップの作成と啓発のほうに使うものです。</p>
委員	<p>レンタサイクルは後手になったとしても、予算があれば、早速委員長の仰ったような拠点作りが必要です。体育館なので所管が違うとは思いますが。こういった市街のマップをあそこに掲示して、こういったサイクリングコースがあるというPRが必要だと思います。それで徐々にPRを外発信するのです。やはり外から来る人が多いと思いますので。</p> <p>去年も申し上げましたが、稲敷市のホームページは非常に見づらいので、入力してもヒットしません。そういったことも含めて、やはり見るのはああいった情報だと思います。ですから、サイクリングの人はあまり重い荷物は持たないものですが、稲敷市にはこういったものがあるのだとか、稲敷市の体育館に行けばここからスタートできるのだとか、できることからやっていけば、その中で地域の地場産業や、銘品、名産品など、ここだったら買えますよというPRにはなります。</p>
委員長	<p>しかし、都市に住んでいる人は別にして、田舎に住んでいて自転車をやっている人は皆車で来ますから、車が停められて、そこへ帰ってきて着替えやシャワーができて帰ることができれば、それで基本的には十分なのではないでしょうか。それで、行って来たよといって何か食べたり買ったりしていってくれば良いのです。しかし、それができるのは江戸崎地区くらいしかないでしょう。</p>



担当課	そうですね。
委員	江戸崎体育館が出発点が良いのではないのでしょうか。桜川がコースとして近いですね。
委員	駐車場を無料開放してね。
委員	そうですね。あの道であれば大丈夫な気がします。
委員長	体育館でシャワーを浴びて帰ることができればそれで良いですよ。結構シャワーは浴びられないのです。 ではここでトイレ休憩を1回入れてから後半に入ります。

### 3. 市道（東）Ⅱ-11号線改良事業（建設課）

委員長	それでは、（東）Ⅱ-11号線改良事業について、担当課から説明をお願いします。
担当課	<p>建設課です。どうぞよろしくお願ひします。手元のほうに、合併特例債 東Ⅱ-11号線整備計画という1枚の紙があるかと思ひます。これに沿って概要を説明させていただきます。</p> <p>事業の目的としまして、稲敷市合併後の東地区地域拠点整備計画として、既存の東生涯学習センターや、図書館、民俗歴史資料館、稲敷市白鷺球場、障がい者自立支援センターハートピアなどの公共施設が立ち並んでおり、これらの有効活用と、今後のインフラ整備ということで、近くには東中学校もあり、歩道なども無いことから、拡幅して歩道を設置し、交通安全を確保するためにこの道路を整備するものです。</p> <p>事業概要としましては、全体計画が当初平成19年度～30年度前後ぐらいまで取っておりましたが、東日本大震災の関係で、特例債の期間が5年以上伸びると伺っておまして、平成35年度ぐらいを目安に整備していこうかということです。全体事業が、この整備にかかる全体費用が10億～14億を見込んでおり、全体延長が3,800m、道路の幅員としまして、車道の有効幅員が5.5の2車線で、一部両側の3.0の歩道が付きました、基本的には片側3.0の片側歩道ということでございます。資料にしているのが位置図で、赤く塗った路線が全体延長を書いているということでございます。</p> <p>次に上の表の、少し小さいのですが、整備計画の事業計画、これまでの経過ということで、予算を執行してきた状況を簡単に説明いたします。</p> <p>平成19年度1,029万円使っておりますが、これは2工区、この真ん中の工区の分の用地測量や詳細設計、こういったものを行った費用です。</p> <p>平成20年、全体事業で7,525万3千円使っていますが、これが1工区2工区3工区の測量、設計を行ったところでございます。また、2工区の生涯学習センターの前の部分、一部、その部分の用地買収を平成20年度に行っています。</p> <p>平成21年度3,821万7千円、これにつきましては、3工区分で一番中学校寄りのところ。その区間の部分約970m分の用地買収がほぼ完了しました。</p> <p>平成22年度、これは4,011万4千円、これにつきましては2工区分の、先程申し上げました生涯学習センター前の一部を除いた2工区分の用地買収をほぼ完了した分の金額です。</p> <p>その間に平成23年と平成24年と枠が白抜きになっている部分が、東日本大震災で一時休止というところ。東地区全体が、東日本で液状化などかなりの災害を受けまして、この路線につきましても一部歪んだ</p>

	<p>りした部分がありましたので、その関係で2年間休止したということです。</p> <p>平成25年度の5,151万6千円というのが、3工区分のプレロードと電柱移転にかかった費用です。</p> <p>平成26年度が3工区分のプレロードの繰り越し分と、2工区分の地盤改良のためのプレロードの工事を実施したものと、電柱を移転した費用です。</p> <p>平成27年度が、11,071万3千円というのが、2工区分の工事費の繰り越し分と3工区分の盛土の撤去を行っています。</p> <p>平成28年度が、2工区分の盛土撤去と、未買収地の一部が買収になったということです。</p> <p>平成29年度につきましては、今度はパイプラインの詳細設計をするための補償金を土地改良区に払っています。</p> <p>そして今年度、平成30年度につきましては、パイプラインの移転工事、工事をやるための実施を1億3,000万、新利根川土地改良区のほうに補償金としてやり取りをしている状況です。以上、簡単ではございましたが概要説明でした。</p>
委員長	最終的にはどこまでかかるのですか。
担当課	今現在2工区分の、1工区分を除いた部分までは用地買収はほぼ完了しているのですが、そこまでは工事についての手を付けている状況で、少しずつ進捗している状況です。1工区分につきましては、震災の関係があって、地籍の基準点などが狂ってきてしまっているの、用地測量をもう一度する必要があるの、用地買収に入っていけない状況です。
委員長	合併特例債は30年までなのですか。
事務局	合併特例債は平成30年度以降も継続するという事で考えております。
委員長	1工区の工事には全く手を付けていないということですか。
担当課	1工区は全く手を付けていない状況です。
委員長	2工区と3工区はどのようなのですか。
担当課	プレロードといって、今現道になっている、道路脇の買収した部分に土を盛って、ある程度地盤を沈下させて落ち着いた形にさせておく工事が一段落したところです。
委員長	2工区と3工区について言えば、お金などは関係無しに、工事的に完成させられるのはいつですか。
担当課	ここに空白にはなっているかと思うのですが、平成35年まではかかるだろうと考えております。
委員長	そこまでかかるのですね。
担当課	というのは、パイプラインの移転と、東中学校付近の橋など、大掛かりな工事の部分があるものですから、その辺りの工事があります。パイプラインなどは潜っていて見えないので、そういったものが出てくるかと思えます。
委員	何のパイプラインなのでしょう。
担当課	農業用水のパイプラインになります。

委員	東中学校のところ，図書館のところは真っ直ぐに行きたいですね。
担当課	はい。
委員	上がったたり下がったりして，うねっている感じがしますね。
担当課	あそこは確かに曲がっているのですが，カーブはもう少し緩やかになるかと思います。そこについては，橋も架かっているんで，その橋の部分の改良，下は大きな水路になっておりまして，その橋を撤去して埋め立てして，ある程度地盤を落ち着かせます。そしてその脇には1,300とか，1,500とかの大きな送水管のパイプラインが入ってまして，これがなかなかの大事業になると想定されています。
委員長	それをいじらずにはできなかったのでしょうか。
担当課	道路の規格として，ある程度大きなものも入ってくるという想定で作らないと，そのパイプラインは，今まで道路も細いので，そんなに大型も入って来ないだろうという荷重計算によって設計されていたものですし，ある程度老朽化もしてきているということもあり，新たなものをその道路の部分については入れ替えをしないと，耐荷重で持たないであろうということが想定されますので，その辺りのやり取りをしている状況です。
委員	中学生の通学路でもあるのですよね。
担当課	そういうことです。それで，基本的にはこの地区の集落の方から，こちらの中学に行くということは結構あるかと思います。
委員長	道路というのは，ましてそういう障壁となるものがあると，お金がかかるので，他のレベルに比べると結構お金がかかるのですよね。ましてや補償額がくっついてくると。ただ，いつまでも時間がかかるということも，もったいないのですよね。極端な言い方をすれば，1工区は捨ててしまうといえれば捨てるということですよ。
担当課	時間的に余裕があれば，今こちらに手を付けるよりも，こちらを有効的に開通させたほうが理想的なのかなと思います。
委員長	<p>中途半端な道路が一番だめですよ。だから今は考え方が変わってきて，学校の耐震改築などでも，上を一回取ってしまえば良いというような方向になってきています。20年ほど前に私が水戸で担当した時に，取ってしまえば大丈夫なのではないですかと言って，取って計算したら大丈夫になってしまって，子供の数も減ってきたので上を取ってしまったのです。</p> <p>そうしたら，荷重が軽くなって，下を強化しなくても大丈夫になりました。それから少しその手が流行りました。そういう方法もありますし，あとは，水戸市などでは下水が問題になって，下水が故障すると馬鹿みたいにお金がかかります。ですから，そこのところを外して，極端なことですが，外してこちら側の道路に行ってしまうと，そういうことがありました。</p> <p>特に千波湖周りなどは，結構だめなのです。地盤改良でお金がかかるのですが，横にずれてしまったほうが良いということで，下水と道路の切り離しを行いました。ですから，大きな管などが入っていると，結構道路というのは，変に荷重を色々考えるではないですか。走りもしない大きなものが走る前提で。あれがやはりとても下の構造物に影響を与えますから。本当はあまり走らないですよ。本当のことを言えば。</p>

	<p>橋なども、どうしても何十トンが走る前提で橋を作るではないですか。ひょっとしたら、道によっては年に1度もそういう車が走らないかもしれませんが、しかし道路構造令で、どうしても作るではないですか。もったいないですよ。だったらもう、車両制限をかけてしまったほうが良いのかもしれないと思う時があるぐらいです。道路についても考え方はもう少し柔軟に考えたほうが良いと思います。</p> <p>何しろ、手を付けた区間をなるべく短い時間で終わらせるのが一番良いのではないのでしょうか。地元の人にとっても。どうでしょうか、現実には。あまり使わないのでしょうかこの道路は。</p>
委員	通りますよ。ここはやはりずっと土が盛ってあって。
委員	私は生涯学習センターへ行く時にしか使っていないので。あれは本当は一部なのですよ。
担当課	そうですね。
委員	1工区はもう全く未買収になっているということですか。
担当課	未買収です。
委員	<p>確かに、県道神崎下総線とぶつかって広がると、利便性は向上すると思うのですよね。しかし、委員長が仰ったように、現在できているところを中心にやるということですので、それを先にどうするかという考え方もひとつの手法だと思います。</p> <p>ただ、そうなると、その残されたエリアのところに集落があったときに、そういう話ではなかったのではないかとと言われることも無いとはい切れません。そういったことも含めてよく考えたほうが良いです。</p>
委員長	そこにもパイプが入っているのでしょうか。自転車と歩行者のみにするとか。
担当課	入っています。
委員	全部入っていますよね。農道だったわけですから。
委員長	荷重のかからない歩道や自転車道にしてしまうとか、それで補償しないということで終わりにするとか。
委員	補償費はすごい金額ですものね。
委員長	向こうにとっては渡りに船でしょう。新しい管に取り換えられるのですから。そこは自転車と歩行者だけにしてしまうとかいうことで、違うほうへ張り出して行ったほうが良いかもしれないですよ。
委員	地盤も大体落ち着いてはいるのです。2工区の辺りには、土嚢ではないですが、両側に積んでありますよね。
担当課	そうですね。
委員	もう、すぐ均らしてしまうのですよね。
委員	もう均らしました。
担当課	今現在は、これは前に撮ったできたばかりの時の写真なのですが。
委員	今はきれいになってしまっているのですよね。
担当課	はい。

委員長	沈むのは、どのぐらい沈んだのですか。
担当課	今はそこまでは資料の持ち合わせがありません。
委員長	大丈夫です。ここは、例えば圏央道の時というのは、土盛りではないのですね。こちらのほうは。
担当課	圏央道の、東インターのほうは盛土になっています。
委員長	盛土の時はどのぐらい盛ったのでしょうか。常総市の方では、今までの土木の中で、経験の無い積み方をしたのですよね。それで、利根川の旧河川沿いで圏央道の建設が遅れたのです。
担当課	そうなのですか。
委員長	要するに、想定の数倍ぐらいに沈下してしまって、土盛りを繰り返したのです。ですから、一度盛って、沈んでしまったもので、もう一度盛って、それで状況を見る必要があったために遅れたのです。
委員	圧をかけても、液状化になってしまっていると、いくら圧をかけてもどんどん沈んでいってしまうのです。
担当課	逆に、あまり重しをかけて地盤を破壊してしまうと、そこだけ沈下してしまい、他が盛り上がりしてしまうということもあります。ある程度落ち着かせる状態で様子を見ていたという時期はありました。
委員	この南側の押砂地区のほうが、道路が震災で被害を受けて、液状化もあったのですよね。今仰った内容だと、工事中もあり、盛土を落ち着かせているところでしょうけれど、今度車が走るようになると、また少し変わってくるかと思えます。しかし、震災の後の改修は全部終わったのですよね。
担当課	はい、終わりました。私もここは全路線通って見ていたわけではないのですが、この路線は意外と橋の付け根の辺り、中学校寄りの橋のある部分辺りが一番影響を受けたところで、あとは1工区のほうは、少し基準点がずれたりという形で、意外に2工区と3工区の辺りについては、それほど液状化などは見られないという状況です。
委員	基準点がずれるということは、やはり土地が動いているということですよ。
担当課	確かに動いています。
委員	縦ではなくても、横にずれているということですね。
委員長	現実には、7mずれてしまったそうですから。ですからこの辺りだって動いているには動いているのです。でも、橋は渡れる程度だったのでしょうか。
担当課	渡れないですね。段差ができてしまっていて、通れなかったです。
委員長	車は5cm超えたら無理ですから。 はい。それではよろしいでしょうか。ではありがとうございました。

#### 4. 平和推進事業（総務課）

事務局	それでは、インデックスナンバー7番の平和推進事業ということで進めたいと思います。委員長よろしくお願ひします。
委員長	では説明をお願いします。
担当課	それではお疲れ様です。総務課の所管であります平和推進事業について説明させていただきます。

	<p>本市は平成 17 年に核兵器廃絶平和都市宣言を採択しまして、平成 22 年に平和組長会議に加盟し、恒久平和のメッセージを発信してきたところです。そのような中で、平成 28 年度に、戦後 70 年及び核兵器廃絶平和都市宣言 10 年を機に、中学生を被爆地である広島に派遣して、平和祈念式典への参加や、原爆記念館など平和施設の見学を通して、戦争の悲惨さ、平和と命の尊さを学習することによって、若い世代の平和意識の高揚と平和推進活動の促進を図る事業を展開して参りました。それ以外にも、原爆パネルの展示であったり、平和に関する映像の上映、また、核兵器廃絶、恒久平和を推進する団体への活動支援等を行っております。</p> <p>詳しい内容についてはこの後担当のほうから説明をさせますが、お手元に配布しております資料等を見ながら説明を聞いていただこうと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>なお、遅くなりましたが今回担当は課長補佐、係長の 2 名になります。よろしく願います。では詳細のほうは係長から説明させます。</p>
担当課	<p>では詳細の説明いたします。総務課で担当をしております係長です。よろしく願いいたします。</p> <p>まず、総合計画実施計画書の概要の部分を見ていただきたいのですが、先程課長からも説明があった通り、大きく分けて 3 本立てです。</p> <p>この平和推進事業に関しましては、平和推進に関する団体、こちらの活動支援、それから中学生の広島平和記念式典への参加派遣、原爆パネルの展示等ということになっております。実際のところ、メインとなるのはこの平和記念式典への市内中学生の派遣です。他はどちらかというところに付随するような形で事業が展開されているということです。</p> <p>今お手元に、メインとなっている事業であります、稲敷非核平和推進に係る中学生派遣事業の報告書ということで、どのようなことをやっているのかをイメージしていただくためにご用意しました。</p> <p>私の説明をお聞きいただきながら、資料をめくっていただいて、どのような感じでやっているのかを見ていただければよろしいかと思います。</p> <p>まず、この事業は市が主催するものでございまして、8 月 5 日～7 日まで、3 日間中学生を派遣するということになっています。市内の中学生を中学校協力の下、中学校が 4 校ございますので、こちらから 2 名ずつの 8 名ということで、募集いたしまして、派遣する中学生に事前学習というのを 3 回行いまして、これを経て 3 日間派遣ということになります。</p> <p>その中で事前に学習の中で、事前レポートの提出や、資料映像の視聴をしていただきながら意識を高めていただいて出発ということになります。3 日間の工程ですが、1 日目に市内の中学校にご協力いただいた千羽鶴の奉納、それから平和記念資料館・原爆ドームの見学などを行います。2 日目に記念式典への参加、3 日目に、呉市内を見学するという工程です。</p> <p>この派遣が終わった後に、活動報告書ということでこちらにまとまっている形で中学生から学んだこと、体験したことということで、報告いただいているというものです。実際にはこの後に、各中学に戻ってから学校の活動の中で、その内容を校内や学内に向けて発表していただくということをやっているいただいています。これがメインとなる中学生の派遣事業です。</p> <p>それに付随して、平和を推進する団体ということで、茨城県の反核平和の火リレーや、原水爆禁止国民平和大行進など、こういった活動をさ</p>

	<p>れている方が市のほうに来ていただけますので、そちらの歓迎と激励の挨拶、あとは計画書のほうには募金と表記してありますが、協賛金のような形でお金をお渡ししたりしています。</p> <p>併せて、この平和記念式典への中学生派遣の時期に合わせて、原爆パネル展を行います。平和記念資料館からパネルをお借りして、それから先ほど申し上げました、原水爆禁止国民平和大行進というものがあるのですが、こちらの原水爆禁止協議会というところでポスターなどを作っていますので、そちらを購入して、パネルと共に展示しているということです。</p> <p>同じ期間に平和に関する映像上映ということで、図書館にて上映会などを行っております。以上、簡単でございますが事業の概要を説明させていただきました。</p>
委員長	これは中学校からの推薦ですか。
担当課	募集ということなのですが、基本的には中学校の中で2人を選抜していただくという形になっております。中学校によっては、中学校の中で選抜の試験というわけではないですが、ふるいにかけていただいて、出してもらおうというところもあるようです。その部分についてはこちらでは特段の指示はしておらず、どのように選出するかは中学校にお任せしております。
委員長	学校の推薦というのが何か良くないですね。適切な人が選ばれているのかどうかは気になります。その選抜方法は色々ですよ。最初から平和作文で選んでいるところが結構多いのではないのでしょうか。誰がそれを見るのかというのが難しいかもしれません。中学校も生徒数が違うのでしょうか。
担当課	そうですね。生徒の規模はそれぞれ違います。
委員長	そこから2名ずつということで、日本における平等であって平等でない手法がここにも現れているという感じがします。 学校に2人という、公平そうでそうでない。 委託で添乗員は不要かと。
委員	男1人、女1人といってね。
委員長	別に女性8人でも良かったのですよね。何か選び方というか、やっていること自体は、平和の意識をどう広げるのかという手法がここにはないような気がします。 その意識が無い人が、成績が良いからといって選ばれて、広島へ行って、宮島でもみじ饅頭と穴子丼か何か食べて帰ってきても、あまりそれを広める力が無いかもしれません。ですから、最初の意識の問題です。それから、これは旅行社への委託ですか。
担当課	そうです。
委員長	添乗員は付くのですか。
担当課	はい。
委員長	添乗員がつくのは、費用的には余計ですね。これくらいの人数で市の職員もいっしょに行くのであれば、自分たちで全部できるはずですよ。切符等を手配してもらえれば。
担当課	そうですね。この事業は平成28年度からで、今年度で3回目の派遣なのですけれど、今年度については、関西の豪雨の影響もあって、丁度公

	<p>共機関が麻痺しているカ所がかなりありまして、移動手段も当初予定していたものから変更せざるを得ない状況がありましたので、今回はどうしても添乗員さんがいないと対応できない部分があったかと思います。</p> <p>来年度以降についてはまた少しその辺りを検討しながら、しかし、担当者も毎年同じ人間が行くわけではないので、少し特殊なもののように思います。</p>
委員長	例えば稲敷市の場合は、議会の視察等の場合にも添乗員が付くのでしょうか。
担当課	そこまでは分かりません。
委員	普通は付けませんね。
委員長	付けませんよね。大人の同行の時には、添乗員は付けませんね。
担当課	そうですね。
委員	海外に行く話の時に、何か語学的な問題があるとすれば、添乗員が付いたりしますが、普通は付けませんね。ですからその経費もやはり、それであれば学生を余分に1人でも、市の職員を1人削って、そうすれば10人は送れるのでは、と考えたほうが私は良いと思います。せっかく行ったのに宮島も行かないのかと思ったら、ちゃんと行っているの、それはそれで良いと思うのですが。
担当課	そうですね。添乗員に関しては検討していきたいと思いますが。ただ、正直に申しますと、添乗員がいるのといないのとでは、変更やアクシデントがあった時の対応が違います。
委員長	そのために市の職員が付いて行っているのではないですか。
担当課	<p>そうなのですが、例えば、初年度にあったのですが、やはり具合が悪くなった方がいらっしゃいました。初年度には実は1人骨折したまま派遣したということもありました。ですので、参加前に骨折してしまい、しかしそのまま参加すると本人が希望し、保護者の方も同意されているということで参加となったのです。</p> <p>具合が悪くなった生徒がいて、一緒に行動ができないとなると、そこに事務局が張り付く形になってしまいます。正直に申し上げますと、これは始める時に龍ヶ崎市が先行してやっていて、詳しい話を聞いてきたのです。そこで、添乗員がいないと厳しいという話を聞いていたので、添乗員を付けることにしました。実際にやってみた感じだと、やはり添乗員はいないと厳しいかという実感はあります。</p> <p>ご指摘のところはあるかと思いますが、その辺りはどのようにやるかということを含めた上で、添乗員の位置付けを検討させていただくことになるのではないかと、今のお話を聞いて思いました。</p>
委員長	でしたら、市の職員は付いて行かなくても良いとか。
担当課	なかなかそういうわけにもいかないのではないのでしょうか。現実的ではないと思われます。
委員長	随行員として学校の先生が付いて行っているのでしょうか。
委員	これは1名だけですか、学校の先生は。
担当課	そうです。学校の先生は基本的について行っていますけれど、主体はこちらでやっているの、そんなに負担をかけることができません。学生の指導はしていただきますが、運行管理のようなことは任せることが



	できないので。
委員長	ですから、それは添乗員の仕事でしょう。
委員	引率者3名ですか。
担当課	学校の先生1名と、市職員が2名です。
委員	それは最初だから行ったということなのでしょう。
委員	4人も大人が付いているということですか。
委員	平成28年に市から2人行っていますよね。去年は一人しか行かれていないので、市の職員は行かなかったということではないですか。
担当課	記載していないだけで、この時市の職員は行きました。
委員	平成29年ですよ。実施要項には引率者3名とあります。中学生8名に引率者4名ですよ。
委員長	私は、8人に4人はありえないと思います。そこはやはり整理した方がいいと思います。同じ数であれば子ども10人に大人2人くらいにしたほうがよいのではないのでしょうか。それから、あとは選び方でしょうね。
担当課	選び方は学校に任せていて、江戸崎中学校などは、複数の生徒が手を挙げて、その中で選抜をしてきているようです。学校によっては、生徒会の役員さんで決めてくる学校もありますし、今回3回行ってきているので、この後どのようにしていくかは検討しながらですね。
委員長	その選び方は、中学校にお任せせず、しっかりと関与したほうが良いのではないのでしょうか。目的がはっきりしているのですから、その目的に合致した選び方を何かしっかりとさせていただくという事のほうが、何もしなくても、先生に指名してもらうような場合もあるのでしょうか。
担当課	そういった学校もあるようです。
委員長	それは何か疑問ですよ。
担当課	そうですね。
委員長	きっと日頃から何かきちんとしていたり、1番だったりしていたのでしょうけれど、それだからといって、平和意識があるとは限らないのですから。 いいですよ、広島に2泊だか3泊だかして、新幹線にも乗れるし。それはいいことですよとても。子供たちにとっては。ですから、選ばれた人にならないとまずいですよね。それは、選ぶところで市が関与している事例も結構あるのでしょうか。
担当課	そうですね。
委員長	水戸市は新聞社と連携しておこなったのですよね。まだやっているかわからないのですが、茨城新聞が受託して、それで平和作文か何かで学校の先生と役所の人が行ってそれで選抜するというのを昔はやっていましたね。
担当課	そうなのですか。
委員	子供たちが帰ってきてから、他の生徒に伝達講習ではないですが、どのようにこの体験を伝えているのでしょうか。それは聞いたことがありますか。

担当課	<p>学年の中で発表したり，あとは文化祭の中で発表したりということ で，そこは派遣で行ってきたわけですから，先程言っていたように平和 意識が仮に全くなかったとしても高まっていくというか，そこから形成 されていくという形ですね。</p> <p>そうすると，その内容は自分の言葉で，自の気持ちで発表していただ くということになります。そこは特に市でこのような形でやりなさいと いうことは義務付けておりません。</p>
委員	それはできないでしょう。
担当課	発表は必ずしているということですが，ただ，それは全体を通してな のか，学年だけに対してなのかということはあるところはあるよう です。
委員	せっかく派遣するのですから，そのようにお願いしたほうが良いので はないでしょうか。
担当課	それは要望の中で既に入っております，やるという前提ですね。です ので，当然その元になるのが活動報告書であるので，しっかり書きな さいよということになるのですが。
委員長	本当にやっているのでしょうかね。
担当課	一応学校ではやっているみたいですが。そのように報告を受けています ので。
委員	<p>何かの報告はしたいですね。それで，この資料の評価チェックの中 ですが，有効性の4番で，市民満足度というのがありますね。</p> <p>この満足と不満が拮抗している，どちらとも言えないと書いてあるの ですが，市民からの不満の声というのはどのようなものがあるのです か。このような事業であればそんなに不満が出ることはないのではと思 うのですが。しかし評価3で拮抗しているということは，何か特殊なも のがあったのでしょうか。</p>
担当課	反応が無いといったほうがよいでしょうか。良いからどんどんやって くれという声も無いですし。
委員	どちらでもいやという感じなのでしょうか。
担当課	その辺りの関心がどこまであるかということが，特段聞こえてこない です。
委員	龍ヶ崎市でも始まったきっかけというのが，議会の一般質問だったの です。
担当課	<p>やり方を聞いてきた時に，龍ヶ崎市の担当職員に言われましたが，や はり教育委員会がやらなければならないという雰囲気です。かなり力を入 れているからということでした。</p> <p>事前学習やレポートの内容や，選抜についてもそうなのでしょうけれ ど，ある程度教育委員会がその部分をやっているのです。運行管理はそ の事業課ということで，分割しているところが多いということでした。</p> <p>ただ，やる経緯となると，どちらかが主体的にやるような状況があっ てやっているということで，なかなか稲敷市のように事務方だけが主体 になってやっているケースは少ないのではないかとということでした。龍 ヶ崎市も始めるにあたって事前に色々と調べていたので，色々な話を聞 きましたが，稲敷市のようなケースはあまりないと言われました。</p> <p>ですので，先程お話したように，もう少し教育委員会にその部分をや ってもらおうということで，事業自体を半分は教育委員会にやっていただ くという感じにならないと。</p>

委員	<p>例えば事前に作文審査か何かで、その人を選抜するというのを委員長は仰っていましたが、それは水戸市などの場合は茨城新聞を取り込んだ上でやっているという話ではないですか。</p> <p>結局は学校の先生というのは、作文を書かせるということは、例えば3年生全員に書かせたらそれを引き上げて審査をする手間があるわけです。そうすると先生方はそうでなくても人権作文を書いてくださいというように、色んなものがありますので、そういった中の1つになってしまいます。先生たちの審査の過程の時間を取られてしまいます。</p> <p>そういった部分については、教育委員会が二の足を踏むというのはそういう部分もあるのかなと思いました。</p>
担当課	そうですね。学校なのか、教育委員会の指導室でやるという話です。
委員	<p>指導室にしたとしても、結局学校の経営管理をしているだけですから、結局元は同じですから、なかなか難しいですね。</p> <p>しかし、単にあなたとあなたと言って指名してやるよりは、何かもう少し自分の意思表示ができるものがあつた上での審査過程に進んだほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>何が良いかというのは分かりませんが、でもそういったものがあれば、この人を選んだ1つの要因はこうですよという確たるものがあることになる。そうでなければ、委員長が仰ったように単なる指名であった場合、では私の子供はどうなのですかと問われた時に、はっきりした理由をいう事ができません。お任せしていると言われると、学校でも困ってしまうでしょうし。</p>
委員	でもそれで誰も手を挙げなかったら、この事業はどうなりますか。
委員	それはそれで問題。恐らく、保護者の方は行かせたいという気持ちはあると思います。ゼロではないと思いますよ。
委員長	しかし、本当に募集しているのかどうか分からないですよ。行きたいと言って手を挙げた人が行っている部分があります。
担当課	子供たちの学習会の時に一応どのように知ったのか聞いたのですが、自分で手を挙げて来ましたということでした。
委員	希望者がいればその中で選抜になるでしょうし、いなければ各中学校から2名ということなので、その状況を満たすために推薦という形で行ってきなさいということになるのでしょう。
担当課	丁度、この中学生の派遣の時に子ども議会と日程が被るのです。今年もそうだったのですが。本来だとその中学校の代表で、場合によってはその議会のほうに、というふうに推薦をされる生徒と、こっちという生徒を両方学校のほうで選んでいるようです。
担当課	その辺りのところは、似たような性質のものがあるのかもしれませんがね。余談ですが、子ども議会もどのように選んでいるのかとなると、やはり似たり寄ったりなので。それはこの事業だけではなく、学校が絡むと似たような話が付随してくるのかと思います。
委員長	そうすると、この稲敷が10年かかってもこの旧村範囲の話から抜けきれないところが、ここにも残ってしまっていると思います。
委員	それはそうです。20年経っても、4町村は残ります。仕事上で残るのですよ。
委員長	意識として残るのは良いのですが、こういうところにも残っているのは、なかなか説明がつかないと思います。どうしてこの人が選ばれたのか、うちの子がなぜ行けなかったのか、そここのところの説明が付くよう

	<p>にしたほうが良いような気がします。</p> <p>はい、時間もよろしいようですが、いかがですか。よろしいですか。どうもありがとうございました。</p>
--	--

## (2) 評価結果の取りまとめ

委員長	<p>それでは評価に入りましょう</p> <p>大学連携事業，サイクリング環境整備事業について，一部見直しでよろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>委員の方からいろいろ判定の理由をいただいているので，その辺を踏まえて一部見直しということをお願いします。</p> <p>大学連携事業は手法の部分を検討し，サイクリング環境整備事業は皆さんお金をかけても通過されてしまうというのはもったいないという思いで共通していると思います。一部見直しでよろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>市道（東）Ⅱ－11号線改良事業は，概ね適正であります，一部見直しが必要ということでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>手を付けたところは早く実施する。</p> <p>平和推進事業は，一部見直しということでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>この事業については，経費，手法，対象者に配慮してまとめてください。</p> <p>本日は以上でよろしいでしょうか。</p>

## (3) その他

事務局	次は週明けの8月20日月曜日です。よろしくをお願いします。
-----	-------------------------------

## 4. 閉会

委員長	本日はお疲れ様でした。
-----	-------------

以上